

# つくば・市民ネットワーク 市議会報告

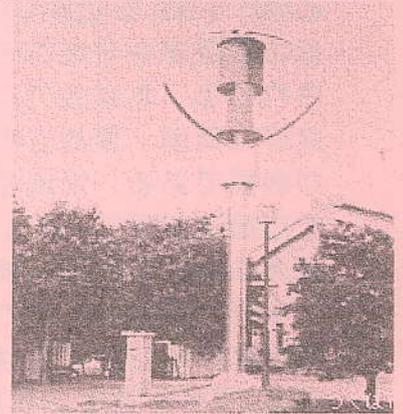
つくば市議会議員：永井悦子・瀬戸裕美子

<連絡先>会派代表：永井悦子 つくば市千現1丁目18-5 パレスハピネス101 Tel&Fax：859-0264

E-mail：tsukubahotnet@ybb.ne.jp ホームページ：http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

12月市議会定例会（12月6日～22日）が終了しました。

## このままでいいの？ 回らない風車に3億円…



いま、市内の小中学校の校庭にブルーと銀色の不思議な形の風車が設置されている。これはダリウス・サボニウス型小型風力発電機というもので、市が環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」に名乗りを上げ、国2億、市1億の税金を投入して設置した風力発電機である。

「つくば市まほろば事業」と名付けられたこの事業は、平成16～18年度の3ヶ年で市内の全小中学校52校に小型風力発電機75基を設置し、その発電電力を売電した収益を元に地域通貨「草のネコちっぷ」を発行することにより、二酸化炭素の発生量を減らしながら、地域啓発・普及を行い、経済の活性化を進めようというもの。

その1年目として16年度の予算で23基を設置したのだが、実は、肝心の小型風力発電機があまり回っていない。これに疑問を持った市民グループ（市井ランダム倶楽部）が情報公開などで調査した結果、小型風力発電機の選定過程に問題があった点が明らかになった。

つくば市の風の状況は、実際の計測値では年間平均2.5m/秒。しかし、今回設置されたダリウス・サボニウス型小型風力発電機は2m/秒以上にならないと稼働しない。しかも、15m/秒の風速時に10kwの発電があるが、15m/秒を超える強風時は危険なのでセンサーで自動制止する仕組みとのこと。さらに、風力発電システム制御板の消費電力が約0.3kwかかる。これでは、売電どころではない。

この問題は、テレビ、新聞でも報道されている。12月議会では数名の議員からの質問に対し、市長は「小型風力発電の分野はまだ確立されたものが無く、市職員の専門的知識も不足していることから機種選択は非常に難しい。設計、工事がどの様に行われたのか調査、検討を現在やっている途中ですから。」と答弁。

しかし、市は平成16年度、風況調査に1,750万円を投じている。また、風力発電機の選定には専門家を複数含んだ検討委員会が組織されたが、実際には検討委員が一同に会する会議は開かれていなかったことが、永井議員（つくば・市民ネットワーク）の一般質問の中で明らかになった。永井議員は「議会で承認した事業でありながら、市・議会共々この報道に押される形で検証に手をつけている現状は、深く反省せねばならず、大きな問題であると考え。これからどうするか、しっかりと検証することが必要」と発言。事業計画によれば、今後さらに国3億、市3億もの税金を使って52基を設置する予定であるが、つくば・市民ネットワークは、回らない風車に税金を投入することのないよう見張っていきます。

## 12月市議会「一般質問」で確認した項目

1. 遺伝子組み換え作物の栽培に関する検討会
2. 公立保育園の民営化
3. 図書関連（学校図書司書補配置）

1. まほろば事業（小型風力発電機）
2. ふれあいプラザ指定管理者の選定過程
3. 公務員宿舍跡地利用



文教福祉常任委員会所属

せと ゆみこ  
瀬戸 裕美子

今議会の一般質問・質疑・討論など詳しい内容は来年1月下旬発行予定の

「つくば・市民ネットワーク通信第5号」に詳細を掲載します。

ご希望の方はつくば・市民ネットワーク事務局（0859-0264）までご連絡ください。

環境経済常任委員会所属

ながい えつこ  
永井 悦子

# 公務員宿舎跡地に

# マンション・戸建が密集!

TX 開通に伴い、大規模マンション・一戸建てが相次いで建設される中、松代・並木・竹園で公務員宿舎跡地の払い下げにより、中心部の二次開発がはじまっている。しかし、この二次開発が問題で、つくば市の魅力である緑豊かなゆとりある街並みが失われつつある。

市は関東財務局が跡地を売却するに当たり、「周辺住民とのトラブルを招かないよう、高さや緑地に配慮してほしい」旨の要望書を平成16年10月に出しているが、全く無視された形。本議会で市長は「現行の法律では規制は難しい。良好な環境・景観を作るべきではあるが、上位法との調整が必要である。地域住民との話し合いも必要。」と答弁。また担当部局は「隣地との距離に応じた高さの最高限度を考えるような条例を検討する。」と答弁した。

今回、松代5丁目の請願（右囲み記事参照）を付託された都市建設常任委員会は、請願を不採択とする一方、「街づくりに関する制度の早期構築を求める決議案」を提出し、本会議で全会一致で採択された。

「建築基準法や都市計画法さえ守ればなんでもできる」という現状では、魅力あるつくばのまちづくりはとうてい望めない。つくば市が早急に景観条例やまちづくり条例の制定に向けて市民参加の形で着手するよう、つくば・市民ネットワークでは行政に訴え続けます。

現在、跡地利用で問題に気づいた周辺住民が生活環境の悪化を食い止めようと運動を始めているのは次の3カ所。

松代5丁目の公務員宿舎64戸の跡地は、すでに6000本の樹木が伐採され、戸建住宅115戸を立てる計画が進行中。これに伴う生活道路である市道の付け替えに対し、中止を求める請願が地元住民団体から出されたが、本議会で不採択となった。

並木3丁目の住民からは、10階建てマンションの建設計画の変更を求める請願が議会最終日に提出された。

竹園3丁目の公務員宿舎跡地では解体時のアスベスト飛散問題が発生し、一次解体を中断。その後、周辺住民と事業者間で連絡を取りつつ、解体工事が進行中である。

## 請願・陳情の採択結果(12月議会)

今議会では継続審議中の請願2件と12月議会へ提出された請願・陳情3件の審議が行われました。

請願・陳情の内容 (結果 採択:○、不採択:×)	結果	つくば・市民 ネットワーク	つくば クラブ	つくば市民 政策研究会	平政会	公明党	民主党・ つくば21	日本 共産党	新 社会党
つくば市細見字井頭地内谷津田埋立事業計画における埋立禁止及び指導を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○
つくば市細見字井頭地内谷津田埋立事業計画の中止要望に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松代5丁目旧公務員住宅跡地開発に伴う市道5-2144号線の付け替えの中止を求める請願	×	○	×	×	×	○	×	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *: 会派代表		*永井 瀬戸	*鈴木、石川 久保谷、塩田 矢口、沖山、市川、 大塚、大久保	*柳沢 須藤、高野 安井、吉葉 古山	*飯岡 境、柳田 木村、豊田	*内田 馬場 坂本 小野	*今井 田宮 宮本 五十嵐	*溝口 橋本	*金子

なお、継続中の「宗教法人幸福の科学『つくば支部』建設に反対する請願」と「民間保育所運営費の継続的確保に関する陳情」は、さらに審議が必要と認められ閉会中の継続審議となりました。

## 代理人とおしゃべり会

市議会終了後、市議会議員の永井悦子と瀬戸裕美子を交え、身近なまちづくりの問題について情報交換や話し合いをしています。今回のおしゃべり会は2月に計画です。詳しい日程・場所については、年明け1月に配布予定のつくば・市民ネットワーク通信5号とホームページに掲載します。

### — お詫びと訂正 —

9月議会の「請願・陳情などの採択結果」で「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願」について、宮本議員は不採択でした。ここに訂正し、お詫び致します。